

7 教育の振興

(1) 現況と問題点

ア 就学前教育

少子化の進展に伴い、各地域での就学前児童数は減少傾向にあるものの、保護者の就学前教育に対するニーズの多様化や就労形態の変化により、幼稚園、保育園での教育や保育の需要が高まっており、乳幼児の健全育成を重点に家庭教育力の向上を図るとともに、保幼小の連続性を考慮した、就学前教育の充実を図っていくことが必要である。

表 7-1 就学前児童数の推移と幼稚園保育園数 (単位：人、園)

| 大迫地区 | | | | | | 東和地区 | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 0歳 | 22 | 17 | 16 | 23 | 13 | 0歳 | 54 | 43 | 51 | 58 | 48 |
| 1歳 | 27 | 21 | 18 | 17 | 24 | 1歳 | 62 | 60 | 45 | 53 | 56 |
| 2歳 | 29 | 26 | 20 | 19 | 19 | 2歳 | 58 | 66 | 61 | 41 | 51 |
| 3歳 | 21 | 27 | 23 | 19 | 17 | 3歳 | 54 | 59 | 68 | 67 | 42 |
| 4歳 | 29 | 25 | 28 | 22 | 19 | 4歳 | 66 | 55 | 62 | 66 | 65 |
| 5歳 | 28 | 29 | 25 | 25 | 22 | 5歳 | 78 | 67 | 56 | 66 | 68 |
| 合計 | 156 | 145 | 130 | 125 | 114 | 合計 | 372 | 350 | 343 | 351 | 330 |
| 幼稚園数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 幼稚園数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 保育園数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 保育園数 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |

(資料：花巻市年齢別人口集計、こども課調べ)

イ 学校教育

本地域は、深刻な少子化による学校の小規模化・複式学級化が進み、教科指導、社会性の涵養、集団スポーツや文化活動等、心身のバランスのとれた発達にとって、必ずしも望ましい教育環境とはいえない状況となっている。

そのような中であって、大迫地区においては、平成 21 年度から外川目小学校を大迫小学校に統合し、東和地区においては、平成 20 年度から田瀬中学校を東和中学校に、平成 23 年度から地区内の小学校全 6 校を 1 校に統合し、児童生徒の教育環境の整備を進めてきている。

学校施設面においては、昭和 43 年に建築された大迫中学校の老朽化が著しく、生徒の安全と快適な教育環境のため、校舎等の整備が進められている。また、建築後 30 年以上経過し老朽化した小学校について、国の方針により今後の改築事業の実施が難しいこともあり、適切な時期に改修を加えていくことで施設の長寿命化を図る必要がある。さらに同地区 3 小学校の自校式学校給食施設についても、施設や設備の老朽化による運用コストの増大や新たな衛生管理基準への対応を行うため、大迫中学校校舎の改築と併せてセンター化を図ることで整備が進められている。

小中学校の教育環境については、国際化、情報化の進展、若者の就業観の変化等、社会経済の状況の変化に対応した教育が求められる中で、一人ひとりの子どもに確かな学力を

身に着けさせるため、実態に即した教育課程の工夫改善を図りながら、学力の維持・向上を推進することが必要である。また、地域の人材や自然、伝統文化等を学校教育に活用しながら、自ら考える力や豊かな人間性等を育むための教育活動を展開していかなければならない。

特別支援教育については、障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育の進展に伴い、障がいと保護者ニーズの多様化が進んでいることから、一人ひとりの実態に応じた特別支援教育のあり方と学校における受入体制の整備が必要となっている。

家庭環境や保護者の価値観が多様化しつつある状況の下、学校、保護者、地域が一体となって子どものためにより効果的な教育を行うためには、相互の信頼関係の強化が必要となっている。

表 7-2 小中学校の建築後経過年数【平成 27 年度】 (単位：校)

| 区分 | | 10 年以内 | 20 年以内 | 30 年以内 | 40 年以内 | 50 年以内 | 合計数 |
|-----|------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 小学校 | 大迫地区 | | 1 | 1 | 1 | | 6 |
| | 東和地区 | 1 | | | | | |
| 中学校 | 大迫地区 | | | | | 1 | |
| | 東和地区 | | 1 | | | | |

(資料：教育企画課調べ)

表 7-3 児童生徒数の状況 (単位：校、学級、人)

| 区分 | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小学校 | 学校数 | 大迫地区 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | 東和地区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 学級数 | 大迫地区 | 18 | 17 | 17 | 18 | 17 |
| | | 東和地区 | 17 | 19 | 18 | 16 | 15 |
| | 児童数 | 大迫地区 | 238 | 221 | 211 | 189 | 179 |
| | | 東和地区 | 476 | 471 | 460 | 431 | 418 |
| 中学校 | 学校数 | 大迫地区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 東和地区 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 学級数 | 大迫地区 | 7 | 6 | 6 | 6 | 4 |
| | | 東和地区 | 11 | 10 | 10 | 10 | 9 |
| | 生徒数 | 大迫地区 | 132 | 134 | 126 | 142 | 121 |
| | | 東和地区 | 249 | 243 | 252 | 241 | 235 |

(資料：小中学校課調べ)

ウ 生涯学習

本地域における生涯学習は、各総合支所及び旧小学校区単位（大迫地区4カ所、東和地区6カ所）に設置された各振興センターにおいて、各種講座が開設されているが、受講者が近年減少傾向にあることから、市民のニーズにあった適切な講座の開設と広報活動の強化が必要と考えている。

また、各振興センターにおける生涯学習については、振興センターごとに市が地域と連携して学習機会を提供してきたが、各地域で行う講座は、地域づくりを目的とする意味合いが強く、地域独自の課題解決に結びつく講座や親睦交流を深める事業との連携など、より事業の自由度を高める意味でも地域が主体となって実施したほうが効果的であることから、平成28年度以降、各コミュニティ会議が主体となって実施をしていくこととしている。このような動きの中で、市も継続して地域と連携協力し、人材の育成などを支援していくことが求められている。

振興センターは、地域の活性化と自主的な地域活動を支援するために設置されたが、その際、地区にこれまでであった施設を利用して設置された。施設によっては、廃校になった小中学校の利用や、昭和50年代に整備された建物を利用しており、老朽化が進んでいることから、適切な維持管理と将来にむけて計画的な整備の検討が求められている。

また、東和地区の東和コミュニティセンターは、東和地区の生涯学習拠点施設として昭和50年に建設されて以来、多くの地区住民に利用されている施設ではあるが、築40年の経年により、施設の老朽化や数度にわたる大地震もあり、施設の継続利用が困難な状況にある。しかしながら、生涯学習の場、いこいの場として重要な施設であることから、安心安全な施設として新たに整備が求められている。

エ スポーツの振興

スポーツ少年団活動の支援や早起きマラソンの開催などにより、地域に根ざした生涯スポーツ活動が定着している一方で、市民（20歳以上）の週1回以上運動している割合は46.2%で、近年その割合は増加していない状況である。また、ほとんど運動をしていない市民（20歳以上）の割合は40%前後を推移しており、運動をしていない市民が多い状況であることから、啓発活動、きっかけ作りが必要となっている。

競技スポーツにおいては、近年、全国規模の大会に出場する選手が増加しており、引き続き競技レベル向上のため、指導者養成の強化を図る必要がある。

また、全国規模の大会やプロスポーツなどのトップレベルのスポーツを身近に触れることで、スポーツに対する関心が高まり、スポーツ愛好者の増加や選手の競技力の向上が期待されることから、高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、より一層の誘致に繋がる支援制度の構築が必要となっている。

(2) その対策

ア 就学前教育

- ① 保幼小の連携強化による就学前教育の充実と家庭教育力の向上
- ② 就学前教育環境の整備・充実

イ 学校教育

- ① 学校規模の適正化の推進と教育環境の整備・充実
- ② 学力向上を目的とした教育課程の工夫改善及び教員の資質向上
- ③ 国際化に対応した国際理解教育の充実
- ④ 地域の特性を活かした教育の推進
- ⑤ 個に応じた特別支援教育と学校適応指導の充実・強化
- ⑥ 学校、保護者、地域が一体となった開かれた学校づくりの推進

ウ 生涯学習

- ① 各種講座等の実施及び充実
- ② 地域での生涯学習活動の支援
- ③ 地域コミュニティ生涯学習担当者の研修実施・斡旋
- ④ 市ホームページ、広報紙、FMはなまき、東和有線放送の活用

エ スポーツの振興

- ① 早起きマラソンの拡充
- ② 多様なスポーツ教室やスポーツイベントの開催
- ③ 地域のスポーツ指導者等の養成、派遣
- ④ ニュースポーツの普及
- ⑤ スポーツ施設の整備、維持修繕と有効活用
- ⑥ 全国大会等の派遣に対する支援
- ⑦ 指導者養成や選手強化への支援
- ⑧ 大規模大会や合宿等の誘致と開催支援

【過疎地域自立促進特別事業】

① 地域体験型学習事業【大迫・東和地区】

各小学校において地域と連携した体験活動、自然観察、地域芸能伝承活動等を実施し、地域に開かれた学校づくりの推進、地域教育力の向上を図る。

② 振興センター生涯学習講座開催事業【大迫・東和地区】

各種講座の開催等身近な場所での生涯学習の機会を提供し、地域における課題の解決、地域文化の伝承等を支援する。

③ 自治公民館整備事業【大迫・東和地区】

地域づくりの場である自治公民館の整備を支援するため、新築及び改修（水洗化を含む）事業に対し、花巻市自治公民館整備事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

④ 生涯学習講座開催事業【大迫・東和地区】

生涯学習の機会を提供し、地域における課題の解決、地域文化の伝承等を支援する。

(3) 計画

事業計画（平成 28 年度～32 年度）

自立促進施策区分：教育の振興

| 事業名（施設名） | | 事業内容 | 事業主体 | 備考 |
|------------------|-------|-----------------------|----------|---------|
| (1) 学校教育関連施設 | 校舎 | 大迫中学校校舎改築事業 | 市 | 大迫地区 |
| | | 小学校施設大規模改修事業 | 市 | 大迫地区 |
| | 水泳プール | 小学校施設維持事業 | 市 | 大迫地区 |
| | 給食施設 | (仮称)大迫学校給食センター整備事業 | 市 | 大迫地区 |
| (2) 幼稚園 | | 幼稚園教育環境充実事業 | 市 | 東和地区 |
| (3) 集会施設、体育施設等 | 集会施設 | 振興センター等整備事業 | 市 | 大迫・東和地区 |
| | | (仮称) 東和コミュニティセンター新築事業 | 市 | 東和地区 |
| (4) 過疎地域自立促進特別事業 | | 振興センター生涯学習講座開催事業 | コミュニティ会議 | 大迫・東和地区 |
| | | 地域体験型学習事業 | 市 | 大迫・東和地区 |
| | | 自治公民館整備事業 | 自治公民館 | 大迫・東和地区 |
| | | 生涯学習講座開催事業 | 市 | 大迫・東和地区 |
| (5) その他 | | 学校地域連携事業 | 市 | 大迫・東和地区 |